

【投 稿 規 定】

(名称) 国立身体障害者リハビリテーションセンター
研究紀要〔略称：国リハ研紀〕、
Research Bulletin, National Rehabilitation
Center for the Disabled
〔略称：Nat. Rehab. Res. Bull., Jpn.〕

1. 本研究紀要は原則として年1回発行し、当センター職員の研究論文（当センター職員の指導による、または共同によるものを含む）を掲載するものとする。ただし、上記以外の論文で特に編集委員会の認めたものは掲載することができる。
2. 投稿原稿の採否の決定は編集委員会において行い、結果は文書をもって著者に通知する。編集方針に従って原稿の加筆、削除または書き直しが求められることがある。
3. 投稿原稿は原則として他の刊行物に未発表、未投稿のものとする。
4. 原稿は、邦文または英文により記載する。原稿はテキストファイル出力可能なワープロソフトにより作成する。なお、英文原稿の文法等に関する責任は、筆者が負うものとする。
5. 投稿原稿は、総説、論文、短報、資料のいずれかの区分に投稿するものとする。採用された論文の区分は、編集委員会において決定する。
総説：特定の主題について、既に公表されている情報の分析、検討に基づいて独創的な見解を展開したものの。特定の主題に関する一連の論文をまとめた総合論文を含む。
論文：障害者のリハビリテーションのために有用で新規な結論、概念等を展開したと評価される完結した独創的な研究成果をまとめた論文。
短報：断片的であっても価値のある事実、データ、方法などをまとめた論文。
資料：障害者のリハビリテーションに有用で価値ある事実、データ、症例、方法、事例等をまとめたもの。
6. 原稿の長さは原則として、総説は刷り上がり20ページ以内、論文、資料は刷り上がり12ページ以内、短報は刷り上がり4ページ以内とする。なお、内容によってはこの制限以内であっても短縮することを求めることがある。
7. 邦文原稿の記載方法は、第1ページについては、表題、著者名、英文表題、英文著者名、英文要旨（200語程度。但し、短報の場合は100語程度）、キー

ワード（4～8語）、本文の順とし、本文欄下に所属、英文所属を記す。なお、著者名・英文著者名の右上、所属・英文所属の前にはアスタリスク（*）を記す。

英文原稿は、英文で表題、著者名、要旨（邦文と同様の語数）、キーワード、本文の順とし、本文欄下には英文所属を記す。著者名及び所属にはアスタリスクを記す。本文は原則として、序論、方法、結果、考察、結論、文献、付録の順序に項目別に記述する。ただし、短報の場合は、この順序に従って記すが、項目別とはしない。

原稿の中で、英数字は半角文字をカタカナは全角文字を使用する。

8. 計量単位は原則として国際単位系（SI）を用いる。
9. 図面については写真製版可能な原図を各図面ごとに別紙に著者が作成し、著者名、図の番号（図1、2…のごとく記す。）、図の題及び説明を記入する。表（表1、2…）の場合も図に準ずるが、Excel またはLotus 1-2-3を用いて作成する。
図や表は本文のあとにそれぞれまとめて添付する。
10. 文献の引用は本文中に「……山田[3]によれば・・・」のごとく記す。文献番号は文中表出順とする。文献は論文末の文献の項に次の要領で記載する。
「雑誌の場合」著者名：表題、誌名、巻、頁一頁（発行年）この場合、誌名は定められた略語を用いる。
「単行書の場合」著者名：表題、書名（編書）、頁一頁、発行所、発行所の所在地（発行年）
著者名については全員の姓名を記す。引用文献が欧文の場合、筆頭者についてはファミリーネームを書いたのち、を打ち、ファーストネームのイニシャルを記し、第2著者以降については、ファーストネームのイニシャルの次にファミリーネームを記す。
〔記載例〕
3) Heyes, A. D., J. D. Armstrong and P. R. Williams : A Comparison of Heart Rates during Blind Mobility and Car Driving, Ergonomics, 19, 489-497 (1976)
7) 永野重史：言語の発達、講座心理学11（藤永保編）、145-198、東京大学出版会、東京（1971）
11. 採用された原稿は著者には返却しない。
12. 投稿についての問い合わせ先、および投稿原稿の提出先は当センター管理部企画課内「研究紀要編集委員会」事務局とする。